

CPコスメティクス初特許成分【マストツリーエキス】に 抗酸化スイッチNrf2を活性化する機能を発見

スタイリングライフ・ホールディングスグループの株式会社CPコスメティクス(本社：東京都新宿区、社長：田中啓次)では、横浜市立大学との共同研究によりバンレイシ科のマストツリーから抽出したエキスに抗酸化作用を見出し、2014年に特許(特許第5463667号)を取得しました。さらに研究を進めた結果、マストツリーエキスは肌において抗酸化システムのスイッチとして働くNrf2(ナーフツー)を活性化することを新たに発見しました。Nrf2が活性化すると、抗酸化タンパク質の産生が増加し、高い抗酸化活性を保つだけでなく、様々な遺伝子発現を活性化することが期待できます。

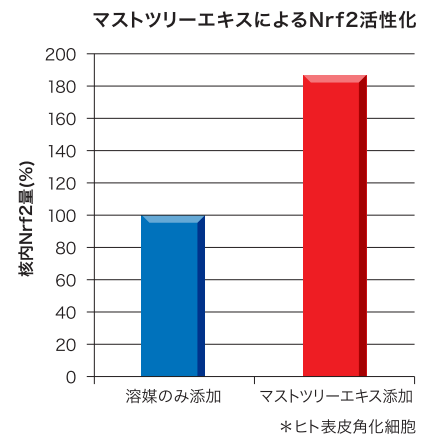
【マストツリーによるNrf2の活性化】

シワやシミ等の皮膚のエイジングトラブルは、過剰なフリーラジカルや活性酸素が要因となります。

ヒトの細胞にはその活性酸素などから防御する抗酸化システムが備わっており、その中心的な役割を果たすのがNrf2です。細胞が酸化ストレスを受けると、細胞質に存在しているNrf2が核に移動することで活性化し、体の防御や修復に働きかける多くのタンパク質の産生を促して酸化ストレスから守ります。つまりNrf2は、抗酸化システムのスイッチの役割を担っています。

特許成分であるマストツリーエキスはヒト細胞のNrf2を活性化することを明らかにしました(右図)。このことから、マストツリーエキスを配合した化粧品を継続使用することでNrf2が活性化され、肌の抗酸化力が高まり、シワやシミを防ぐことが期待できます。

※今後、弊社から発売される商品にマストツリーエキスを活用する予定です。



【マストツリーエキス】

バンレイシ科クロボウモドキ属マストツリーから抽出したエキス。
マストツリーは樹高が15m程度になる常緑高木。幹がまっすぐ伸びることから、帆船のマストに用いられた。これが英名のマストツリーの由来になっている。
緑陰樹や街路樹として熱帯アジア地域で広く利用されている。



【お問い合わせ】

株式会社CPコスメティクス

〒169-0074 東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー27F

お客様相談室 TEL：0120-294-970